

週間漁海況情報—第39号

平成27年10月13日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

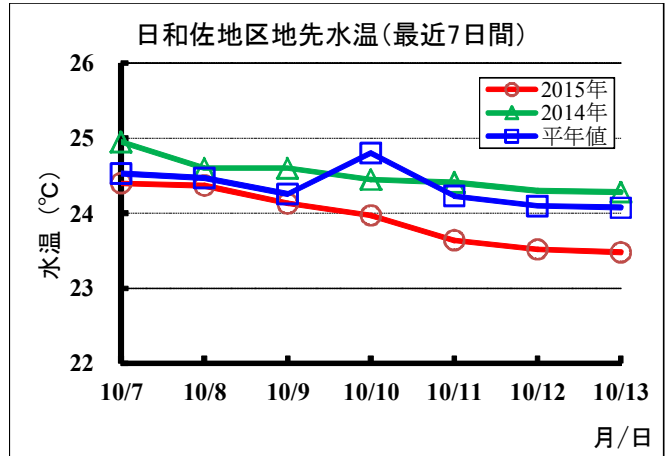
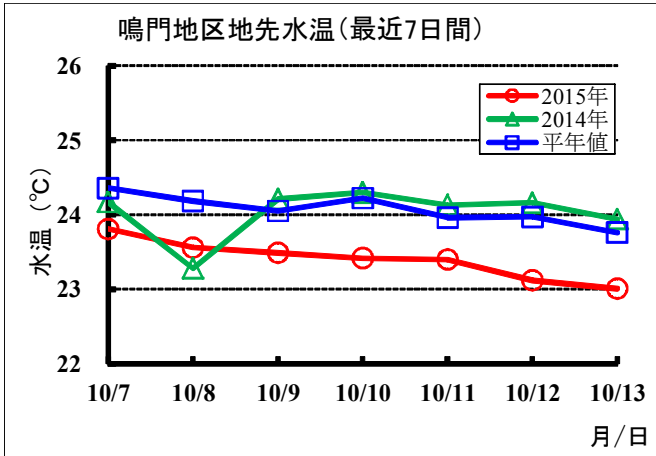
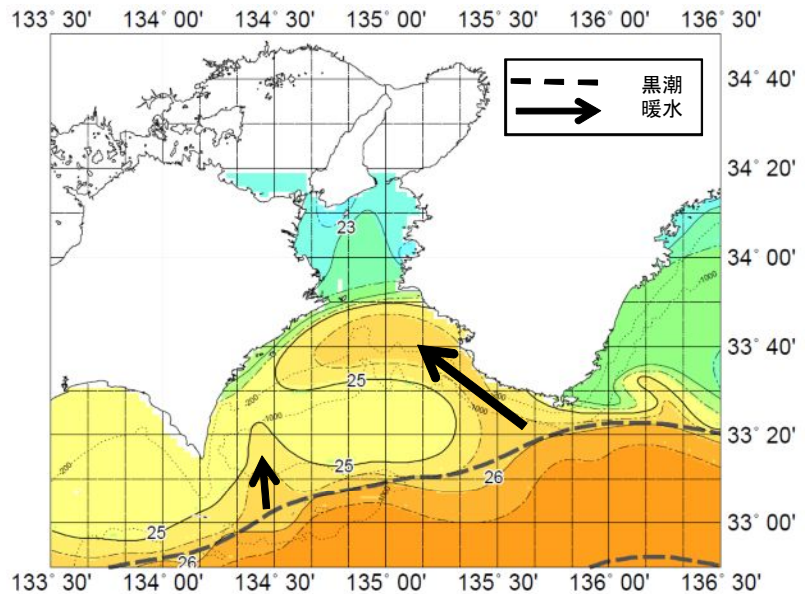
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.10.13）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は25～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘及び紀伊水道で22～23℃台、海部沿岸では23～24℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸と室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温: 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」の23.0～23.8℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.5～24.4℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.5～24.2℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.7トン（1日1隻あたり23kg）、大主体にサワラが0.3トン（同42kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でカワハギが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で小主体にマアジが1.0トン（同91kg）、小主体にマルアジが0.2トン（同26kg）、メアジが0.4トン（同15kg）、ヤマトカマスが0.3トン（同15kg）、マルソウダが0.3トン（同10kg）、とびうお類が0.2トン（同10kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸でタチウオが0.5トン（同23kg）、紀伊水道で中主体にサワラが1.1トン（同66kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが59.6トン（同497kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2015年10月5日～2015年10月11日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	29	658	23	大主体
		サワラ	6	254	42	大主体
建網		カワハギ	77	274	4	
小型定置網		マアジ	11	1,005	91	小主体
		マルアジ	8	210	26	小主体
		メアジ	23	354	15	
		ヤマトカマス	20	296	15	
		マルソウダ	26	269	10	
		とびうお類	24	239	10	
		釣り	タチウオ	22	496	23
パッチ網	紀伊水道	サワラ	16	1,063	66	中主体
		シラス	120	59,625	497	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月6日～10月12日には、海部沿岸では、延縄で大主体にキダイが0.2トン、釣りで大主体にタチウオが0.3トン、紀伊水道では、釣りで中主体にサワラが0.3トン、パッチ網でシラスが19.4トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや低め」～「平年並み」の22～23℃台、日和佐地先で「やや低め」～「平年並み」の23～24℃台で推移する見込み。